

NANOホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO 松村 淳
(コード：4571 東証グロース市場)
問合せ先 IR担当：土屋 千映子
TEL：03-6432-0020
URL：<https://www.nano-hd.com>

戦略子会社 NANO MRNA による次世代型 LNP 技術ベンチャー「Luna RD」買収 に関する基本合意書締結に関するお知らせ

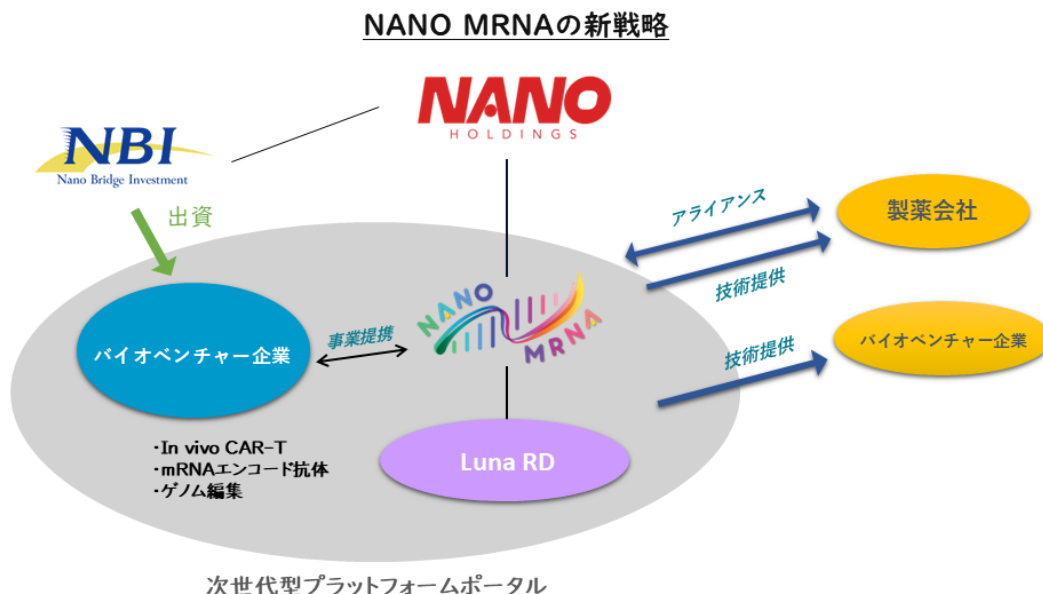
NANOホールディングス株式会社（以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、当社の戦略子会社である NANO MRNA 株式会社（以下「NANO MRNA 社」）が、次世代型 LNP（Lipid Nanoparticle：脂質ナノ粒子）技術を有するバイオベンチャー Luna RD 株式会社（以下「Luna RD」）の買収に向けた基本合意書を Luna RD と締結することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、NANO MRNA 社が今後推進するプラットフォーム戦略における第一弾の戦略的 M&A となります。

1. NANOホールディングスにおける NANO MRNA 社の戦略的位置づけ

NANO MRNA 社は、2026年4月1日付で NANOホールディングスの戦略子会社となりました。核酸技術の中核とした世界最先端の創薬プラットフォーム企業を目指し、次世代医薬品開発において製薬会社やバイオベンチャー企業が直面する多様な技術的課題に対し、横断的なソリューションを提供してまいります。

今後はさらに、当社および当社投資子会社 Nano Bridge Investment を通じ、事業・資本提携、アライアンス構築、M&A、戦略的出資等を通じ、核酸技術の中核とした世界最先端の技術および周辺技術を NANO MRNA 社のプラットフォーム上に集約する戦略を機動的に推進してまいります。



2. Luna RD 買収の戦略的意義

Luna RD は、静岡県立大学の浅井知浩教授が創業した LNP 技術のバイオベンチャー企業であり、mRNA および核酸医薬に不可欠な DDS 技術を有しています。特に、LNP の組成において従来必要とされていた PEG（ポリエチレングリコール）を使用しない独自技術を有する点が大きな特長です。

一般的な PEG 含有 LNP 技術は、既存特許との関係から医薬品を開発しても高額なロイヤルティ負担が発生するケースがあります。Luna RD の技術は、これらの制約を回避できる可能性に加え、PEG に起因する安全性上のリスクを低減できる点で優位性を有しています。

本件を通じて NANO MRNA 社は、製薬企業およびバイオベンチャー企業に対し、より安全性と自由度の高い LNP 技術を提供し、次世代創薬の可能性を拡張してまいります。

3. LNP 技術を巡る知的財産および事業環境

現在、LNP 技術分野では、Acuitas^{※1}、Genevant/Arbutus^{※2}といった参入企業が、LNP の基本概念や特定脂質に関する重要な知的財産を幅広く保有しています。加えて、Arcturus^{※3}のように独自の LNP 送達技術や周辺ノウハウを基盤とする企業も存在します。mRNA 医薬や核酸医薬の開発においては、契約により、1 件あたり数百万～数億ドル規模のアップフロントや開発マイルストーンの支払いおよび数%のロイヤルティ負担が発生する事例が存在しています。

実際に、COVID-19 ワクチン領域では、LNP 関連特許を巡る訴訟や和解を通じて、総額 10 億ドルを超えるライセンス対価や和解金が支払われた事例も確認されており、LNP 技術を巡る知的財産リスクおよび経済的負担は、次世代 mRNA・核酸医薬開発における構造的な課題として顕在化しています。

4. 今後の展開

今後、デューデリジェンス（DD）を実施したうえで、買収に関する最終契約の締結に向けた協議を進めてまいります。最終契約締結および必要な手続きを経て Luna RD を NANO MRNA 社の子会社として迎え入れる予定です。なお、NANO MRNA 社の成長戦略につきましては、当社ホームページを通じた動画配信を予定しております。

5. 業績への影響

取引条件等の詳細については、決定次第、適時開示規則に従い速やかに開示いたします。なお、当社 2027 年 3 月期連結業績への影響については、2026 年 5 月 15 日に発表予定の決算短信の業績見通しの中で開示する予定です。

<Luna RD 会社概要>

会社名 : Luna RD 株式会社
本社所在地 : 静岡県静岡市清水区川原町 21-11-301
設立 : 2021 年 11 月 18 日

※1 Acuitas Therapeutics

カナダを拠点とする LNP 技術の基盤技術企業。自社創薬は行わず、LNP プラットフォームを製薬企業に提供するライセンス事業を展開。非上場のため時価総額は非開示だが、mRNA ワクチン実用化を支えた実績を持つ。

※2 Genevant Sciences / Arbutus Biopharma

LNP 関連特許を保有する Arbutus Biopharma と、その LNP 技術を基盤とする核酸医薬 DDS 技術を有する企業 Genevant Sciences による連合。両社は LNP 関連知的財産のライセンス供与や権利行使を事業として展開している。Arbutus Biopharma（米国ナスダック上場）は 2026 年 3 月末時点で時価総額は約 8.8 億ドル。

※3 Arcturus Therapeutics

米国ナスダック上場の mRNA 医薬開発企業。独自 LNP 技術（LUNAR®）および自己増幅型 mRNA 技術を基盤に自社パイプラインを展開。2026 年 3 月末時点で時価総額は約 2.2 億ドル。